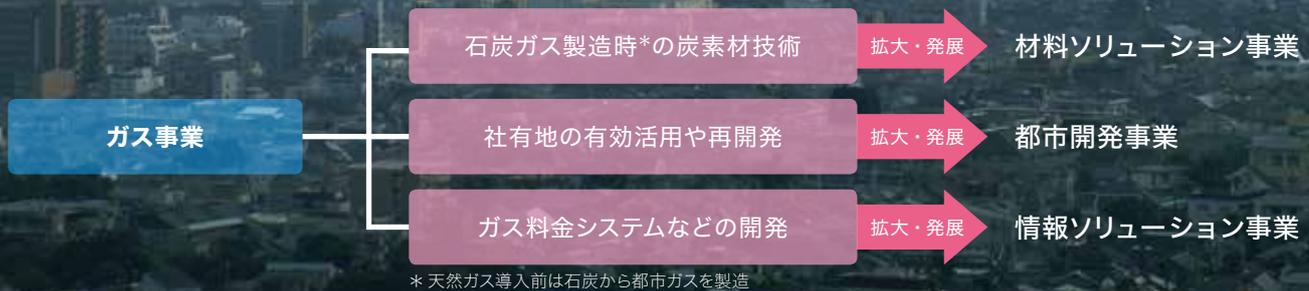


ライフ&ビジネス ソリューション事業

●材料ソリューション事業 ●都市開発事業 ●情報ソリューション事業 ●ライフサービス事業／新規事業

ガス事業で培った技術・ノウハウを活用し、事業を拡大



大阪ガスグループでは、100年以上に亘る都市ガス事業の中で蓄積されてきた技術やノウハウを活かし、材料ソリューション事業、都市開発事業、情報ソリューション事業などのビジネスを積極的に展開しています。

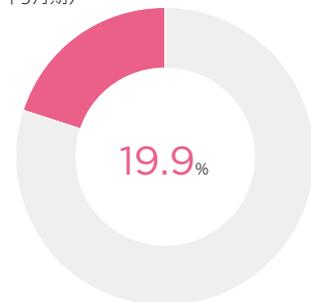
また、常に事業の状況を見極めながら、事業の「選択」と「集中」を進め、効率的な事業運営を行っています。

2014年3月期は、売上高が1,996億円となりました。また、セグメント利益は208億円となり、大阪ガスグループの利益の約20%を占めています。

原料価格の高止まりや省エネルギー意識の高まりなど、エネルギー事業を取り巻く環境が変動する昨今の社会情勢の中で、非エネルギー分野であるライフ&ビジネスソリューション事業の収益は安定しており、大阪ガスグループの収益基盤を支える上で大きな役割を果たしています。

セグメント利益*1構成比

(2014年3月期)



●環境・非エネルギー事業*2

*1 セグメント利益＝営業利益＋持分法による投資損益

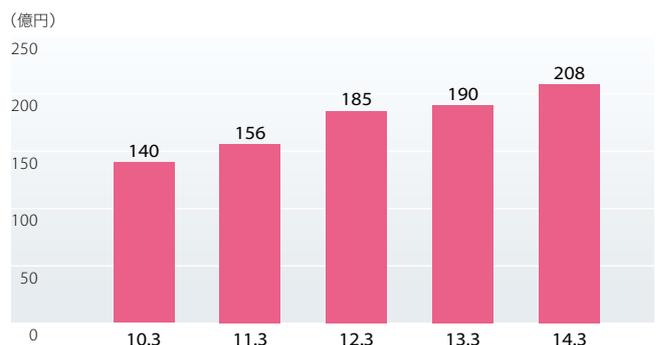
*2 セグメント内容を見直し、2015年3月期より名称を「ライフ&ビジネスソリューション事業」に変更しています。

売上高(環境・非エネルギー事業*)



* セグメント内容を見直し、2015年3月期より名称を「ライフ&ビジネスソリューション事業」に変更しています。

セグメント利益*1(環境・非エネルギー事業*2)



*1 セグメント利益＝営業利益＋持分法による投資損益

*2 セグメント内容を見直し、2015年3月期より名称を「ライフ&ビジネスソリューション事業」に変更しています。

ライフ&ビジネス ソリューション事業

材料ソリューション事業 (大阪ガスケミカルグループ)

事業の概要と特徴

大阪ガスが石炭ガスの製造を通じて蓄積してきた石炭化学技術や日本エンバイロケミカルズの医薬品を源流とする技術をコアとして、炭素(Carbon)材料と有機(Chemistry)材料の分野で付加価値の高い素材を開発し、多岐にわたる製品を提供しています。

ファイン材料分野では、光学特性や耐熱性に優れたフルオレン誘導体を、携帯電話などに使用される光学レンズ樹脂材料や液晶ディスプレイのフィルム材料として製造・販売し、世界市場で高いシェアを獲得しています。

活性炭分野では、幅広い用途の活性炭や、それを用いた浄水器カートリッジ、空気清浄フィルターなどの製造・販売を行っています。

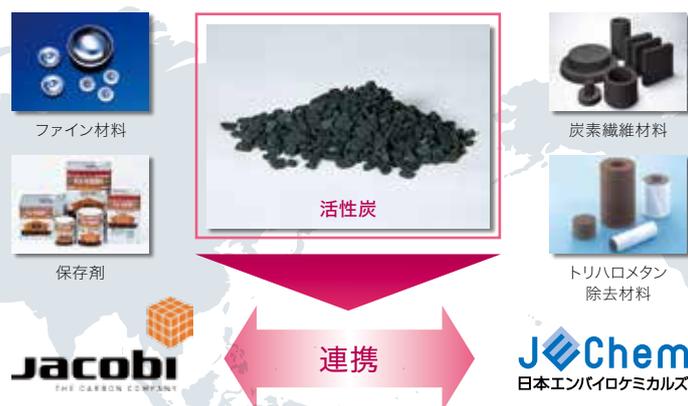
また、R&Dの強化やM&Aにも取り組み、2021年3月期には大阪ガスケミカルグループの売上高を1,000億円まで高めたいと考えています。

2014年3月期の取り組み

2014年3月期は、ファイン材料分野では前期実績を上回ることができなかったものの、市況の回復に伴い炭素繊維材料分野での販売が伸びたこと、2013年に設立した中国の現地法人での営業が立ち上がったことなどにより、大阪ガスケミカルグループの売上高は前期実績を上回りました。

2014年1月には、活性炭分野の強化を図るため、スウェーデンに本社を置く活性炭事業会社Jacobi Carbons ABを買収しました。これにより、グループの競争力を強化するとともに、世界100カ国以上への販売チャンネルを獲得し、活性炭市場の大きな成長が期待されるグローバルマーケットへの販売を進めていきます。

大阪ガスケミカルグループ 売上高/当期純利益



- 製造技術の移植による新製品開発・業務品質向上
- 流通・販売体制の相互活用による効率化

Jacobi Carbons ABの概要

所在地:	スウェーデン
主要拠点:	米国、英国、フランス、ドイツ、スイス、スリランカ、インド、中国など
設立:	1916年
事業内容:	スリランカ、インド、中国、ベトナムなどの各工場で生産した活性炭を北米・欧州を中心に世界111カ国へ販売
業績:	2013年12月期末実績: 売上高195億円
従業員数:	約1,200人(関係会社含む)

日本エンバイロケミカルズの概要

所在地:	日本
資本金:	21億円
設立:	2003年
事業内容:	活性炭、木材保護塗料、シロアリ防除材(防蟻剤)、工業用保存剤、下水処理用の担体などの研究、開発、製造および仕入・販売
業績:	2014年3月期末実績: 売上高155億円
従業員数:	約150人

ライフ&ビジネス ソリューション事業

都市開発事業 (大阪ガス都市開発グループ)

事業の概要と特徴

大阪ガスグループが保有する不動産を活用することに加え、新たに不動産を取得し、賃貸・分譲・地域開発・ビルメンテナンスなど幅広く不動産事業を展開しています。今後も環境にやさしく快適な住まいやビジネス空間の提供を進めていきます。

2014年3月期の取り組み

分譲マンション市場の活況を受け、当社が主幹事となって進めた分譲マンションなど10物件370戸を販売したほか、ビルメンテナンス事業では売上高が100億円を超えるなど、グループの収益向上に大きく貢献しました。

今後もガラストップコンロ、床暖房、ミストサウナなどのガス設備を充実させ、ガスの優位性を実感していただける物件を提供し、ガス事業とのシナジーを発揮していきます。



アーバネックス秋葉原EAST

ジ・アーバネックスなんば

大阪ガス都市開発グループ 売上高/当期純利益



情報ソリューション事業 (オージス総研グループ)

事業の概要と特徴

オージス総研は、大阪ガスのガス事業向けシステム開発・運用を主体として発足しました。現在ではオージス総研グループ独自の技術や顧客基盤を活用し、最新のシステム開発からクラウドサービスの提供、セキュリティ品質の高いデータセンターの運用などを行っています。

2014年3月期の取り組み

情報セキュリティ確保やコスト削減の観点から需要が高まっているデータセンター事業に取り組みました。2013年4月には大阪、7月には東京で耐震性に優れたデータセンターをそれぞれ新たに開設しました。今後もデータセンター事業の基盤強化を図るとともに、大阪・東京の拠点を一体的に運営し、監視・保守・セキュリティ対策などお客さまのニーズに応じていきます。



ICCビル

オージス総研グループ 売上高/当期純利益



ライフサービス事業 / 新規事業

事業の概要と特徴

大阪ガスグループのブランド価値向上と、効率的・効果的なグループ経営に資する事業の推進を目指し、フィットネスクラブなどを運営するスポーツ施設運営事業、自動車のリース事業、人材派遣事業、介護事業などB to B、B to Cを問わず幅広い分野で事業を展開しています。今後もお客さまニーズへの対応力を強化していきます。

また、不振事業やガス事業とのシナジーの低い事業からの撤退を進める一方で、成長事業に対する積極的な投資を進め、新たな事業領域にも取り組んでいます。



フィットネスクラブ コ・ス・バ



アクティブライフ(在宅介護サービス)

2014年3月期の取り組み

英国水道事業への参画

2013年10月、大阪ガスは住友商事(株)から株式の一部を譲り受け、英国の水道事業会社Sutton and East Surrey Water plc(以下、SESW)に出資し、日本の都市ガス事業者として初めて海外での水道供給事業に参画しました。

水道事業は、地下埋設管を活用したインフラ事業、ユーティリティ事業、規制事業という点において、ガス事業との親和性が高いビジネスモデルであると考えています。また、長期的にビジネスを展開することが可能であるため、安定的に収益を確保することが可能であると期待しています。

大阪ガスが都市ガス事業で培った顧客サービスや維持管理などのノウハウと、住友商事(株)が米国や中東、中国やアジアなどで蓄積してきた豊富な上下水処理事業経験を融合させ、事業基盤を強化することにより、SESWのさらなる企業価値向上を目指します。



軟水化工程



スクリーニング工程



Sutton and East Surrey Water plcの概要

所在地:	英国 サリー州
供給エリア:	ロンドン南東部 835km ² (人口約67万人)
供給量:	15.8万m ³ /日
供給地点数:	約28万件 (家庭用:約26万件、業務用・工業用:約1.7万件)
設立:	1862年(1989年民営化)
事業内容:	上水道事業
業績:	2013年3月期末実績:売上高88億円
従業員数:	230人